

ブルーギルなど駆除

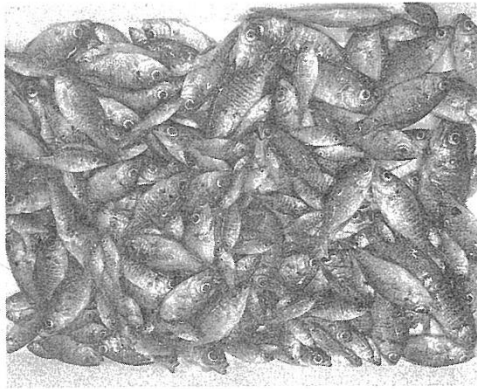
水を抜いた堀で活動

高雲山 東山 篠山 自然部 自然科学部

篠山東雲高校自然科学部がこのほど、2日間にわたり篠山城跡南馬出堀



水を抜いた堀で地引網を引く高校生ら＝丹波篠山市南新町で



東馬出堀で捕獲したブルーギル
＝丹波篠山市東新町で（提供）

と東馬出堀で、生態系を守るための外来生物の駆除と、生き物調査を行った。堀で地引網を引き、外来種のブルーギル、ウシガエルなどの

タマジャクシを捕獲。在来種はモツゴ、フナ、タニシなどがいた。同部は、6年前から堀での外来種駆除を行って

きたが、冬に行うのは初めて。南馬出堀は、市が外来アカウキクサの駆除などを目的にかいほりした。生徒らは水がわずかになった堀に入り、泥に沈みながらも、力を合わせて両側から地引網を引っ張った。

2日間で外来種は、ブルーギル269匹、ウシガエルのオタマジャクシ58匹、アメリカザリガニ3匹を捕獲。在来種はモツゴ216匹、フナ29匹、タニシ9匹などがいた。外来種は駆除し、在来種は別の場所で一時避難させており、今月下旬調べたいと話していた。

同部の部長 さん

（同）は「しんどかったが、外来種の駆除だけでなく、普段はできない場所のごみ拾いもできた。地域貢献ができて良かった」と感想。同部顧問の

教諭は「水を抜いたことにより、外来種の生息数が減ったかどうか、来年の定置網調査で

2024年3月3日

丹波新聞